



大学礼拝

Chapel News No.135

第135号 東北学院大学 2016年4月1日

大学礼拝

宗教部長

野村 信



「始めるという人生」

「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」

(ルカによる福音書第五章四節)

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。この時期、大いに喜び、新しい出発を楽しんでください。そこで誰もが楽しい大学生活を始めるためには、まずクラスメイトに、「おはよう、どう元氣？」と声を掛けましょう。みんな友達を欲しがっていますし、この時期、身近な人たちに声を掛けることで大学生活が始まります。しばらくすると、気の合う仲間が集まります。大学のサークルや様々な活動に加わるのも、気の合う友を見つける近道です。似たもの同志、同じような話題で盛り上がりがあります。

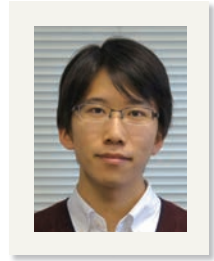
さて、オリエンテーションの期間に、ひと通り同級生とどのような講義を受講するかを互いに確認したら、続いて、講義以外の時間の過ごし方が気になります。そこで、サークルを探すのもよし。アルバイトを始

めるのもよし。図書館で早速読書をはじめのもよし。とにかく始めることです。人間は「始める動物」なのです。自分からいつでも積極的に始めましょう。そして、生涯「始めるという人生」を送ります。そう、大学生活を始めます。一人暮らしを始めます。仕事を始めます。結婚生活を始めます。子育てを始めます。老後を始めます。そして新しい世界への旅立ちを始めます。ですからいつも自分から始めます。

冒頭で掲げた聖書に、その日、魚がとれずに失意の中にいた漁師たちに、主イエスが「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」と促している場面があります。今よりも「もっと遠くへ、もう一歩前進しなさい」と勧めています。私たちは、うまくいかない、面倒臭くなり、あきらめたりしがちですが、主イエスはいつも「もう一歩先へ向かいなさい」と促します。それは、引き籠りがちな私たちを、「外へ」「他者へ」「社会へ」、そして「神へ」向かうよう諭して下さいます。ですから、誰でもみな、「始める」のです。人間は「始めるという人生」を送ります。

大学生活は、社会へ出る助走の期間であるなら、誰もがみな「始めること」を学ばなければなりません。社会とはまさに、広い海のようなところで、各自が漕ぎ出していくところです。時に、不安で気が重く、また後ろに気を取られがちですが、「沖に漕ぎ出そう」という声に促され「始める」のです。どうか、この時期に、そしていつも始め、前進し、飛躍していく一人一人であってほしいと思います。

新入生たちへ



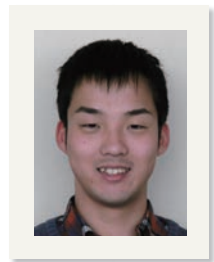
文学部歴史学科卒

土田悠太

(金融機関に就職)

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。私は歴史学科をこの3月に卒業いたしました。春からは地元の銀行に就職いたします。

私とって大学生の4年間はとても貴重なものでした。この4年間は何もかもが初めてで、私にとってとはとにかく新鮮なことばかりでした。皆さんの中にも初めて一人暮らしをする方がいらっしやると思います。また、新しい生活に戸惑うことも多いかもしれません。緊張している人や不安に思っている人もいらっしやるかもしれません。そんなときには身近な先生に相談してみてください。先生の中には牧師をなさっていた方もいて、とても親身に相談にのってくださいます。先生との繋がりは実は意外と大切ですよ。最後になりますが、大学はその気にならなければどんな夢でも実現してしまいます。失敗を恐れず、積極的に挑戦してみてください。皆さんにとって大学で過ごす4年間で充実したものとなるよう、心からお祈りいたします。



教養学部人間科学科卒

長島心一

(学校法人に就職)

入学おめでとうございます。大学では、好きなことを好きなだけ深めることができます。しかしその一方で、何もしなければ何も身に付かないで終わってしまいます。充実した日々を送るには、自身で日々を充実させていくしか方法はありません。東北学院大学には静かに自分を捉え直すことができる礼拝堂や、集中して学びを深めることができる図書館があります。また、学び方が分からないとき、大学生活に不安を感じたときに相談することができる教職員の方々がいます。そして何よりも共に学び合うことのできる学生が大勢います。これらを4年間の中で、どれだけ主体的に、「使いこなせるか」が、充実した4年間を送る上で一番大事なポイントとなります。皆さんが充実した4年間を過ごせるよう心から祈っています。

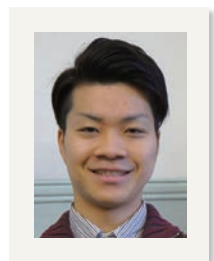


ご入学おめでとうございます。僕の4年間の大学生活を引き合いに出しつつ、皆さんにささやかなエールを送らせて頂きます。

入学当初、僕は日本文化に興味があったので、1年間、茶道サークルに所属していました。アルバイトも4年間で三業ほど経験しました。1、2年の間は、興味のある本を手当たり次第に乱読していました。その時の読書体験が3年次に始まった専門科目の学びのための大きなバックボーンになりました。3年次からキリスト教神学を学び始め、旧約聖書で卒論を書きました。卒業後は進学して、キリスト教会の牧師になるための研鑽を続けます。

東北学院での4年間は、僕に、生涯誠実に向き合うことのできるテーマを与えてくれました。驚くような出会いは、皆さんにも必ずあります。

劇的な出会いのために、どうか、努力を惜しまないでください。そのための4年間です。



文学部総合人文学科卒

藤田健太

(神学校に進学)

Campus messages

各キャンパス担当の先生たちからのご挨拶

泉キャンパス

大学宗教主任 原田 浩司



新入生の皆さん。東北学院大学泉キャンパスによろこそ！ 泉キャンパスに登校する皆さんは、守衛所前の校門を潜ってしばらく坂道を登り、左に曲がると真っ先に視界に飛び込む建物があります。銀杏並木越しの礼拝堂です。これから数年間、泉で学生生活を送る皆さんにとって、この景色は忘れがたく、臉に焼きつくでしょう。礼拝堂は皆さんの通学を迎え、学生の多くがその脇を通り、2号館の教室へ向かって行きます。

この礼拝堂では講義期間は毎日大学礼拝が行われます。日替わりで多彩な顔ぶれの説教者たちが聖書からショート・メッセージを語り続けます。人生や暮らし、学びや日常等、私たちの身近なトピックスを踏まえながら、聖書の言葉が真摯に、時にユーモラスに語られます。

「大学礼拝への出席は義務ですか？」と聞かれることがあります。私は申し上げたい。「大学礼拝は東北学院大学の学生の権利です」と。皆さん是非奮って出席しましょう。

土樋キャンパス

総合人文学科長 出村みや子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年で一三〇年周年を迎える創立以来、東北学院大学は日々の大学礼拝において聖書に記された神の言葉に耳を傾け、一人一人に語られたメッセージについて思いめぐらせるひと時を大切に守り、継承してきました。情報化社会と言われる忙しい日々を過ごす学生の皆さんは、メールやインターネットを通じて人とのコミュニケーションや情報を得るのに時間を取られ、静かに自分自身と対話する時間は少ないのではないのでしょうか。大学礼拝はそうした日常の活動をいったん断ち切って、自分を見つめ、聖書の言葉に耳を傾ける貴重なひと時です。どうぞこれからの大学生活では、それぞれの専門領域の学びをしっかりと続けながらも、それぞれの専門領域を越えて本学のキリスト教精神が共通に目指しているものに皆さんのまなざしを向けていって下さい。

多賀城キャンパス

大学宗教主任 吉田 新



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはいま、どのような思いを抱いてキャンパスを歩いているのでしょうか。初めて受ける大学の授業、高校の授業に比べると人数の多さにビックリします。たくさんの必修科目、ちゃんと単位をもたえるか心配です。サークルを何にするか悩みます。学食の雰囲気になかなかなじめない：などなど戸惑うことが多いと思います。もしかしたら、学院に入学して初めてキリスト教に触れた方が一番戸惑うのは、大学礼拝かもしれません。でも、どうかご心配なく。礼拝では何か特別なことをするわけではありません。讃美歌を歌い聖書を読み、少しの間だけ日常から離れ、自分自身と自分を超えた存在に思いを向ける時間を過ごします。まずは多賀城キャンパスの奥に静かに建つ礼拝堂の門をくぐってみてください。これまであまり体験したことのない空気が皆さんを包むと思います。礼拝堂でお待ちしています。

第11回 「学生のためのオルガン公開講座」のお知らせ



大学オルガニスト
今井 奈緒子

この講座は、礼拝の楽器として用いられているオルガンに親しみ、演奏することを目的としています。専門家である本学の礼拝オルガニストが、各キャンパス礼拝堂のオルガンをうけて指導します。

単位に関係のない講座ですので、卒業まで継続して受講することも可能です。受講場所も開講時間に合わせて、希望のキャンパスで受講することができます。

◆ 受講資格

・楽譜を読むことができ、鍵盤楽器の演奏に多少なりとも心得があること
・レッスン、練習に励む意思のあること

◆ 対象

本学に在籍する学生

(所属学部・学部生・大学院生を問わず)

◆ 内容

オルガンの奏法と作品を学ぶ
(個人またはグループレッスン形式)
ガイダンスと修了演奏会を実施します。

◆ 場所

土樋・多賀城・泉、各キャンパス礼拝堂

◆ 受講料

年間一五、〇〇〇円

◆ 期間

五月〜十二月(レッスンは月二回ペースで実施。その他自主練習、演奏会準備)

◆ 募集人数

各キャンパスにつき若干名

◆ 講師

小野なおみ

(礼拝オルガニスト)

今井奈緒子

(教養学部教授、大学オルガニスト)

◆ ガイダンス開催日

受講希望者は所属キャンパスに拘わらず、五月十一日(木)十六時に、泉キャンパス音楽研究室(礼拝堂一階)の前へ集まってください。ガイダンスの後に受講の意思確認をし、講師との顔合わせ、レッスン日の相談、調整等を行います。出席不可な場合は事前に宗教音楽研究所までご連絡ください(022-375-1185)。なお、希望者多数の場合は相談、抽選ないし後日オーディションをさせていただきます場合があります。

宗教部

聖歌隊

へのお誘い

みなさん、一緒に歌を歌いませんか。中学、高校とみんなで合唱する楽しさを味わった人は大勢いると思います。大学でもぜひ一緒に歌いましょう。本学の「聖歌隊」は、長く親しまれてきた合唱曲や宗教音楽、また讃美歌を歌い、定期演奏会で発表したり、クリスマスにメサイアを歌ったり、と楽しい企画が幾つもあります。ボイストレーナーの先生が定期的に指導に來られます。秋に合宿の計画もあります。

歌うことの好きな方は大歓迎です。今年度の第二回の会合は、四月十二日(火)のお昼休みに礼拝堂の一階の聖歌隊室で行います。以後、火曜日のお昼休みの「火曜練習日」と木曜日の午後二時半からの「木曜練習日」に練習します。是非、参加しましょう。

2016年度 礼拝オルガニストの皆さん

- 東北学院大学オルガニスト・・・今井奈緒子
- 東北学院大学礼拝オルガニスト・・・阿部和子、今高和枝、大泉真理、小野なおみ、加藤晶子、亀井睦子、京極扶美恵、坂上美美恵、菅原淑子、長谷部真理子、日野百合子、渡辺真理



編集後記

新入生の皆さん、緑の広がる両キャンパスで良く学び、語り、楽しい大学生活を送ってください。毎日行われる大学礼拝への出席を大切に、心の養いをしてください。貴重な時になると思います。

なお、今夏の八月八日〜十日に開かれるサマー・カレッジでは、「三校祖の志 東北学院のルーツを学ぶ」を主題にします。詳細は礼拝堂の入り口に七月初旬にチラシを準備しますのでそれをご覧ください。希望者は誰でも参加できます。

二〇一六年四月一日

東北学院大学宗教部

千九八〇・八五一一

仙台市青葉区土樋丁目三番号